

『 島をつくろう 』 5歳児 5月



エピソード

砂場で大きな山をつくり、その山のふもとに水や砂がたまり始め、新しい島が生まれました。

A児はその島に、根っこや草を植えはじめ

「この島には木が生えてるんだよ」とB児に話しながら作っていました。

C児は小さな島の反対側で山を大きくしていたので、保育者が「Cくん、Aくんがまた違うのを作っているよ」と声をかけました。C児はA児の様子を見に行き、「なにしてるの？」と声をかけ、A児は「島に木を植えてるんだよ」と島から目を離さずに話していました。

C児は、「じゃあこの大きい山も島にしよう、どこにあるの？」と言いながら草の場所を探し始めました。B児が「こっち」と言いながら畑の前まで草を取りに行く姿を見てC児も走って草を取りに行き、大きな山に植え始めるとC児の様子をみていたD児とE児も草を取りに行き山に植え始めました。

保育者の思い

子どもの発想力の豊かさに驚きです！

今まで砂場でたくさんの土や水を使って様々なものを作り出してきた子どもたちならではの発想

他の子ども達の遊びに気づき、遊びが発展するといいなと思い声をかけました。

自分の思いを言葉にし、またわからないことは自分から友達に尋ねるなど「友達に伝えたい」「友達がい楽しい」と友達との関係を築いていってほしいと思っています。

子どもの育ちや学び

- ・イメージを表現する楽しさを感じていました。そのイメージをその場にいる友達に言葉や態度、仕草で伝え、共有しながら遊んでいます。
- ・じっくりと物（砂場の山）に向き合い、集中して遊ぶことで集中力が高まってきています。また、ふとしたきっかけで周囲に目が向き、新しい考えを取り入れることができるようになっていきます。

自分の思いを人に伝える喜びを感じてきます

家庭だったら・・・

道端にある草花について話をしてみると思いがけない発想が生まれるかも！

子ども達の目線っておもしろいです。子ども達のお話をゆっくり聞いてみてください。ステキなアイデア、大発見をしているかもしれませんね。